

令和5年度

学校推薦型選抜 学生募集要項

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）
行政政策学類
経済経営学類
共生システム理工学類

学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）
人間発達文化学類

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、試験日程・選抜方法等が変更になる場合があります。最新情報は本学ウェブサイトでご確認ください。

（入試情報 <http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）



〒960 - 1296
福島市金谷川1番地
024 - 548 - 8064(入試課)
<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

ページ

<input type="checkbox"/>	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
<input type="checkbox"/>	学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）	7
1.	募集人員等	7
2.	出願資格	8
3.	推薦要件	8
4.	選抜方法	10
5.	採点・評価	10
6.	試験日程・時間割	11
7.	出願手続	12
8.	合格者発表	15
9.	入学手続	15
10.	入学料・授業料の減免について	16
<input type="checkbox"/>	学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）	17
1.	募集人員等	17
2.	出願資格	18
3.	推薦要件	18
4.	選抜方法	18
5.	採点・評価	19
6.	試験日程・時間割	20
7.	出願手続	20
8.	合格者発表	26
9.	入学手続	26
10.	入学料・授業料の減免について	27
<input type="checkbox"/>	障がい等のある入学志願者の事前相談	28
<input type="checkbox"/>	合格しなかった者の取り扱い	28
<input type="checkbox"/>	不正行為の禁止について	28
<input type="checkbox"/>	入試情報の公開（開示）について	28
<input type="checkbox"/>	入学志願者の個人情報保護について	29
<input type="checkbox"/>	東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について	30
<input type="checkbox"/>	令和5年度入試における新型コロナウイルス感染症対応について	31

□ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21 世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 福島大学の教育目標 を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、 選択した領域の専門知識、 問題を発見し探究する力、 広い教養と知的関心、 グローバルな視野、 主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学類の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	学 力 の 3 要 素				
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等	
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力	表 現 力	意 欲 ・ 関 心 ・ 態 度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト， 個別学力検査					
実 技 (実 績 評 価)					
小論文，課題論文， 課題レポート			○		
総 合 問 題	○				
口頭試問，面接	○	○	○	○	
集 団 討 論		○			
ポスター プレゼンテーション	○	○			
調 査 書					
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書， 志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類 (芸術・表現コース)	小論文，面接，実技検査		面接
人間発達文化学類 (スポーツ健康科学コース)	実技実績調査書（第1次選抜） 小論文，面接，実技実績評価 （第2次選抜）	小論文，面接	面接
行政政策学類（夜間主）	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート（第1次選抜） 大学入学共通テスト （第3次選抜）	課題レポート（第1次選抜）	
		集団討論および面接（第2次選抜）	
共生システム理工学類	ポスター内容（第1次選抜） 総合問題（第2次選抜）	ポスター内容（第1次選抜）	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション（第2次選抜）		
食農学類	自己推薦書（第1次選抜），課題論文（第2次選抜）		面接（第2次選抜）

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト，面接		面接
行政政策学類	調査書（評点），小論文	小論文，面接	面接
経済経営学類（A推薦）	調査書（評点）， 語学資格・検定基準	小論文，面接	面接
経済経営学類（B推薦）	調査書（評点）， 簿記検定試験の合格	小論文，面接	面接
共生システム理工学類	調査書（評点），小論文	小論文，面接	面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

1. 人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の7つコースがあり、1年生の前期(第1 Semester)から各コースのいずれかに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[一般選抜・前期日程] 募集人員 154人

[一般選抜・後期日程] 募集人員 12人

[総合型選抜] 募集人員 20人

[学校推薦型選抜] 募集人員 74人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は、人間に対する理解だけでなく、高校で学んだ人文科学や社会科学、生活科学、数理科学、芸術、スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。本学類では、以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力・実技能力

(2) 得意分野に関する優れた理解・技能(以下のうち1つ以上)

- ・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
- ・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
- ・音楽や美術において優れた技量を有している。

(3) 教育・人間・文化・社会への問題意識、および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- ・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- ・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- ・発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- ・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- ・修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期(第3セメスター)からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[昼間の一般選抜・前期日程] 募集人員 108 人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の一般選抜・後期日程] 募集人員 35 人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の学校推薦型選抜] 募集人員 42 人

調査書(全体の学習成績の状況(評定平均値)4.3以上)、志願理由書(「法・地域・行政・社会・文化について関心がある者」)提出を推薦要件とし、個別学力検査(小論文)と面接によって実施。

[夜間主の総合型選抜] 募集人員 20 人

志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力(以下のうち1つ以上)

- ・国語, 地歴公民, 理科, 数学, 外国語について, 修学に必要な知識を有している。
- ・上記科目のうち, いずれか3科目について, 優れた知識を有している。

(2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力(以下のうち1つ以上)

- ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
- ・政治, 経済, 社会的な問題などに関心を持ち, 深く考察する態度
- ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

〔経済経営学類〕

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身に付け、現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・ 経済学と経営学の専門知識
- ・ エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- ・ フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- ・ グローバルに思考し実践に進む力
- ・ キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には、「経済学コース」「経営学コース」の2コースがあり、2年生の後期(第4セメスター)からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[一般選抜・前期日程]	募集人員	114人
[一般選抜・後期日程]	募集人員	40人
[総合型選抜]	募集人員	11人
[学校推薦型選抜・A推薦]	募集人員	25人
[学校推薦型選抜・B推薦]	募集人員	25人
[私費外国人留学生選抜]	募集人員	5人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と、社会での実践力を大学において身につけるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力

：国語、地歴公民、理科、数学、外国語について、修学に必要な知識を有している。

(2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力

(3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲

(4) 得意分野に関する優れた学力・実績(学校推薦型選抜に該当)

：学校推薦型選抜では、上記の(1)・(2)・(3)に加え、以下の点を評価します。

学校推薦型選抜(以下のうち1つ以上)

A推薦：英語等の外国語に関する優れた知識、ないし関連資格を有している。

B推薦：簿記に関連する優れた知識、ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、21世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき、人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- ・論理的で的確な立案力と決定力
- ・学際的・国際的に実践する力
- ・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した9つのコース*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

*9コース：数理・情報科学コース，経営システムコース，物理・システム工学コース，物質科学コース，エネルギーコース，生物環境コース，地球環境コース，社会計画コース，心理・生理コース

2. 入学試験の種類と内容

本学類では4種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔総合型選抜〕 募集人員 25人

高等学校までの学習全般を含む総合問題，自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑，志願理由書および調査書により，高等学校の基礎的な学力，論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

〔学校推薦型選抜〕 募集人員 23人

小論文，面接，志願理由書および調査書により，基礎学力，理解力，論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の人を対象としており，高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

〔3年次編入学〕 募集人員 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に，面接と提出書類（志願理由書，推薦書，調査書）により，本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち，学習意欲が高い人を選抜します。

〔一般選抜〕 募集人員 前期日程 70人，後期日程 42人

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査，大学入学共通テスト（5教科7科目）および調査書により，基礎的な科目を広く習得し，理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために，以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 論理的な思考力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

□ 学校推薦型選抜

(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)

1. 募集人員等

学類・コース		入試区分・募集人員	1校で推薦できる人数	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続
行政政策学類	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	42人	制限なし	11月1日 ～ 11月7日	11月19日	12月1日	12月9日 ～ 16日
経済経営学類	経済学コース 経営学コース	A推薦 25人 B推薦 25人	3人		11月26日	12月8日	
共生システム理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	23人	制限なし		11月26日	12月8日	

(注) 1. 所属コースについて

行政政策学類：所属コースは，1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。

経済経営学類：所属コースは，2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

共生システム理工学類：所属コースは，1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

2. 1校で推薦できる人数について

経済経営学類の「1校で推薦できる人数」については，3人までとなります。

入試区分ごとの人数ではありません。

2. 出願資格（行政政策学類，共生システム理工学類）

次の各号のいずれかに該当する者とします。

高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和5年3月卒業見込みの者

学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和4年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者
文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了または修了見込みの者

出願資格（経済経営学類）

次の各号のいずれかに該当する者とします。

高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和4年3月以降に卒業または令和5年3月卒業見込みの者

学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和3年4月以降年度の途中に高等学校を卒業または卒業見込みの者

文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月から令和5年3月までに修了または修了見込みの者

3. 推薦要件

志願する学類・入試区分のすべての推薦要件に該当する者のうち，学校長が責任を持って推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者とします。

（注） 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することができるのは，1つの大学・学部（学類）の学科・課程・専攻等に限り，したがって，本学において同一人物が「学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）」および「学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）」の両方に出願することはできません。

学類	入試区分	推 薦 要 件
行政政策学類		調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者 法・地域・行政・社会・文化について関心がある者
共生システム理工学類		調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し，本学類で学ぶ強い意欲を持っている者

学類	入試区分	推 薦 要 件
経済経営学類	A 推薦	<p>調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3 以上の者 以下の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者</p> <p>（公財）日本英語検定協会主催 実用英語技能検定（英検）CSE スコア 1850 点以上 「英検 S-CBT」（「英検 2020 1day S-CBT」「英検 CBT」を含む）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。</p> <p>（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC L&R 480 点以上 ETS Japan合同会社主催 TOEFL iBT 50 点以上 「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む）の受験によって得られた成績を、従来方式と同等に扱います。</p> <p>（公財）ドイツ語学文学振興会主催 ドイツ語技能検定試験（独検）4 級以上 （公財）フランス語教育振興協会主催 実用フランス語技能検定（仏検）5 級以上 （公財）日本中国語検定協会主催 中国語検定試験（中検）準 4 級以上 ロシア語能力検定委員会主催 ロシア語能力検定試験 4 級以上 （公財）韓国教育財団主催 韓国語能力試験（TOPIK）1 級以上 学力・人物が優れている者</p>
経済経営学類	B 推薦	<p>調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者 以下の検定試験のいずれかに合格している者</p> <p>日本商工会議所主催 簿記検定試験 1 級または 2 級（なお、1 級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） （公財）全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験 1 級 学力・人物が優れている者</p>

推薦する場合の留意点：試験科目に英語は課していませんが、経済経営学類では英語を含む語学教育を重視したカリキュラムを実施しているため、推薦される者にはその点への留意が必要です。

4. 選抜方法

大学入学共通テストを課さずに、以下の方法によって行います。

なお、経済経営学類以外は、出願書類は面接の資料として利用します。経済経営学類は、出願書類は判定の基礎資料として利用します。

学類	入試区分	選 抜 方 法
行政政策学類		小論文（100点満点）、面接（50点満点）の成績の総合点により判定します。また面接では、志望動機・入学意志・勉学意欲に関してはA・B・Cで評価を行い、C評価の場合には小論文と面接の総合点如何にかかわらず不合格となります（C評価とは基準に満たないと判断された場合を言います）。
経済経営学類	A 推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）の成績の総合点により判定します。
	B 推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。
共生システム理工学類		小論文（40点満点）、面接（60点満点）の成績の総合点により判定します。

5. 採点・評価

学類	入試区分	小 論 文	面 接
行政政策学類		法・地域・行政・社会・文化についての資料を示し、それに関して800～1,000字程度で論述させ、資料を正確に理解し、知識や問題意識を的確に論述することができるかを総合的にみます。	出願書類をもとに、志望動機と入学意志が明確か、勉学意欲が旺盛か、法・地域・行政・社会・文化に強い関心および知識があるか、説明能力があるかを総合的にみます。
経済経営学類	A 推薦 B 推薦	一定の素材を与え、それに関連して1,200字以内で論述させ、読解力、思考力、表現力等を総合的にみます。	推薦書、志願理由書に基づいて質問を行い、問題意識や勉学意欲を総合的にみます。
共生システム理工学類		資料に基づき論述させ、理解力、思考力、表現力等を総合的にみます。	出願書類をもとにした面接により、基礎学力、積極性、理工学的社会問題への関心、コミュニケーション能力等を評価します。

6 . 試験日程・時間割

学類	入試区分	試験日	試験科目等	試験時間
行政政策学類		11月19日	小論文	10:00～11:30
			面接	12:30～17:00
経済経営学類	A 推薦 B 推薦	11月26日	小論文	9:00～10:30
			面接	11:00～17:00
共生システム理工学類		11月26日	小論文	10:00～11:30
			面接	13:00～17:00

試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲示します。

7. 出願手続

(1) 出願方法の確認 (Step 1)

出願手続の手順については、本学ウェブサイト「入試情報 - 募集要項」

(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録 (下記Step 2) だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (12～13ページ参照)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
Step 2	インターネット出願登録 (13ページ参照)	出願登録期間内に、インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
Step 3	検定料の支払い (13ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください。(検定料免除申請をする場合は支払わないでください。)
Step 4	必要書類の作成・印刷・送付 (14～15ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「一般書留速達」で郵送してください。
Step 5	受験票の印刷 (詳細は15ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 事前準備 (Step 1)

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p><Windows></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge (最新バージョン) ・ Google Chrome (最新バージョン) ・ Firefox (最新バージョン) <p><Mac OS></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Safari (最新バージョン) <p><Android 5.0以上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Android Chrome <p><iOS 10.0以上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Safari <p>最新バージョン以外でも利用することはできますが、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また、その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。</p>
メールアドレスの準備およびメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 (@adb.fukushima-u.ac.jp, @postanet.jp)</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の4～5回メールが送信されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット出願登録入力中のテストメール 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール 検定料支払完了時の自動送信メール(検定料免除の場合は送信されません) 顔写真が承認または非承認された際のメール 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール <p>受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>

<p>入学志願者本人写真（データ）の準備</p> <p>必要書類等の準備</p>	<p>インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpg）が必要です。（受験票に顔写真が掲載されることになります。）</p> <p>写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前3か月以内に正面、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。</p> <p>写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは3MBまでです。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>現像された写真を再撮影しているもの</u>等。</p> <p>「出願書類」（14ページ参照）記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。</p>
<p>出願書類提出用封筒の準備</p>	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。</p>
<p>様式印刷の準備（プリンタ、印刷用紙等）</p>	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。</p> <p>印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。</p>

インターネット出願登録期間（Step 2）

令和4年10月30日～11月7日 午後4時30分まで

検定料の支払い（Step 3）

検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー（ネットバンキング・銀行ATM）」のいずれかの方法で払い込んでください（払込手数料が別途必要です）。

【払込期間】

令和4年10月30日～11月7日 午後4時30分まで

なお、支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です（出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし、次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

- ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった）
- イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ
- ウ. 出願期間終了までに、検定料免除に該当することを証明する書類を取得できなかったものの、出願期間終了後に取得した

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問合せ先：福島大学財務課出納係

024 - 548 - 8015

検定料免除について

本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和4年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については30ページの「東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

出願期間 (Step 4)

令和 4 年 11 月 1 日 ~ 11 月 7 日 午後 5 時まで

出願書類提出先 (Step 4)

福島大学入試課 〒960 - 1296 福島市金谷川 1 番地 024 - 548 - 8064

出願書類等 (Step 4)

入学志願者は、次の書類を取り揃え、一般書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし、「(5) 出願期間」で定める出願期間最終日前日の発信局消印のある一般書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の一般書留速達は、受理しません。(出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため。)

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前 9 時から午後 5 時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 ()	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。
2. 志願理由書 ()	本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。
3. 推薦書 ()	本学所定の様式 出身学校長が作成し厳封したもの。
4. 調査書	出身学校長が作成し厳封したもの。
5. 検定試験関係書類 (経済経営学類のみ)	指定された検定試験の合格証等の写し
6. 検定料免除申請書 () および添付書類 (申請者のみ)	本学所定の様式 免除の条件については 30 ページの「 <input type="checkbox"/> 東日本大震災 (原発事故含む) および 激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してく ださい。 なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでくだ さい。
出願書類提出用封筒	各自で準備した市販の角形 2 号 (240mm × 332mm) の封筒に、上記 1 ~ 6 の必 要書類で該当するものを封入し、一般書留速達で郵送してください。 なお、角形 2 号 (240mm × 332mm) の封筒に添付資料等が入らない場合は、異 なるサイズの封筒を使用してください。
出願書類提出用 宛名シート ()	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」の おもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願 書類に漏れがないことをチェックしてください。

出願書類作成上の注意事項 (Step 4)

表中の「」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷する書類です。

インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。

表中の「」印の書類は、本学ウェブサイトから様式を A 4 サイズでモノクロ印刷 (複数ページの場合

合は両面印刷)して作成する書類です。

(本学ウェブサイト「入試情報 - 募集要項」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>))

黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。自筆作成の指定がない書類は、パソコンによる入力も可です。

押印が必要な書類もありますので注意してください。

誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。

廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績証明書(成績通信簿)を提出してください。また、成績証明書も得られない場合には、調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書(出身学校長が作成したもの)を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの卒業証明書等が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。

出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。

- ・ 入学志願票等に記入漏れまたは誤記入があるもの
- ・ 出願書類として添付が必要な証明書等が同封されていないもの

出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却および志望等の変更(コース変更等)は認めません。

出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

受験票の印刷について (Step 5)

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったこととお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

8. 合格者発表

行政政策学類 令和4年12月1日 午前11時

経済経営学類、共生システム理工学類 令和4年12月8日 午前11時

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続等を記載した「入学手続の手引き」を送付します。学校長には選考結果を文書で通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

JR福島駅やJR金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については、本学は一切関知していませんので十分注意してください。

9. 入学手続

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

令和4年12月9日～16日 午後4時必着

指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

なお、入学手続完了後に他の国公立大学に入学手続をすることは認められません。本学の入学辞退許可を得ずに、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。）の個別学力試験等を受験しても合格者とはなりません。

公立大学協会のウェブサイト（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

入学手続に際しては、入学料等を納付するほか、「入学手続の手引き」に記載の書類を提出しなければなりません。

原則として、学校推薦型選抜に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、令和4年12月16日までに「学校推薦型選抜入学辞退願」（様式は任意）を出身学校長名により、理由を付して提出してください。

入学時の大学への納入金

入学料（予定額）	各学類	282,000円
----------	-----	----------

（注）1．上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2．入学手続完了後に、入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。）は、入学料の返還はできません。

（参考）1．授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額（予定額）は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料（予定額）	各学類	前期分	267,900円	ら新たな金額が適用されます。
		後期分	267,900円	
		合計（年額）	535,800円	

2．諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

10．入学料・授業料の減免について

非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方は、日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって、家計の所得に応じた支援区分で入学料、授業料が減免されます。また支援区分ごとの奨学金が毎月給付されます。

その他、激甚災害に遭われた方で、修学支援新制度の対象とならない方には、家計を確認したうえで入学料、授業料が減免される本学独自の制度があります。

学校推薦型選抜

学類	募集人員	1校で推薦できる人数	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続
人間発達文化学類	74人	7人	令和4年 12月13日 ～ 12月16日	令和5年 1月18日 または 1月19日	令和5年 2月9日	令和5年 2月13日 ～ 2月17日

(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)

1. 募集人員等

次の7コース・10 受験区分で募集を行います。

コース	受験区分	募集人員
教育実践コース	小学校教員になることを強く希望する者	14人
心理学・幼児教育コース	幼稚園教員になることを強く希望し、あわせて保育士資格を取得する意志のある者	7人
特別支援・生活科学コース	特別支援学校教員になることを強く希望する者	8人
	家庭科または特別支援教育に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	5人
芸術・表現コース	音楽科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	4人
	美術科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	4人
人文科学コース	国語科、社会科、英語科のいずれかに関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	15人
数理自然科学コース	理科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	7人
	数学科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	4人
スポーツ健康科学コース	体育科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	6人

入学後は、出願時に強く希望した受験区分の教員免許を取得することになります。

受験区分 の面接には音楽に関する簡単な実技検査を含みます。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和5年3月卒業見込みの者

学校教育法施行規則第93条第3項の規定により令和4年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者
文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月から令和5年3月までに修了または修了見込みの者

3. 推薦要件

次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

学類	推 薦 要 件
人間発達文化学類	学業、人物ともに優れ、各コースが求める教員になることとあわせて資格取得を強く希望する者 令和5年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者

（注）国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部（学類）の学科・課程・専攻等に限りです。したがって、本学において同一人物が「学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）」および「学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）」の両方に同時に出願することはできません。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績および面接の成績の総合点により判定します。

また、面接は出願書類を参考に行います。

受験区分 の面接では新曲（八長調、8小節、臨時記号無し）を視唱します。30秒程度の黙読時間を与えます。

5. 採点・評価

大学入学共通テストおよび個別学力検査等について

教科	大学入学共通テストの利用教科・科目名	個別学力検査等の科目	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						
			国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫政経, 倫政経から1または2 <選択> : 「地歴」「公民」から1科目選択する場合> 物基, 化基, 生基, 地学基から2および物, 化, 生, 地学から1 または 物, 化, 生, 地学から2 <選択> : 「地歴」「公民」から2科目選択する場合> 物基, 化基, 生基, 地学基から2 または 物, 化, 生, 地学から1 数, 数・数Aから1 数, 数・数B, 簿, 情報から1 <選択> [5教科7科目]または[5教科8科目] <選択> [5教科7科目], [5教科8科目] [6教科7科目]または[6教科8科目]	面接	200	200 *100	200	100 *200	200	600	1500

a. 「地理歴史」, 「公民」から2科目, 「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合, それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目, 合計3科目を判定に用います。

b. 「地理歴史」, 「公民」から2科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目, および「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合, 「地理歴史」, 「公民」の「第1解答科目」と, その他の3科目から高得点の2科目, 合計3科目を判定に用います。

「地理歴史」を2科目選択する場合は, 同一名称のA・B科目, 「公民」を2科目選択する場合は, 同一名称を含む科目同士の選択はできません。

「理科」を2科目選択する場合は, 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。

「地理歴史」, 「公民」, 「理科」の配点については, 上段は, 「地理歴史」, 「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。下段は, 「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります。)また, リーディングの得点を200点満点に, リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を, 配点(200点満点)に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合は, リーディングの得点を, 配点(200点満点)に換算して利用します。「英語」以外の「外国語」の場合は, 筆記の得点をそのまま利用します。

過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和5年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

面接について

面接場面での質疑応答を通して、受験生の理解力、思考力、表現力とともに、学校教育等に対する関心、意欲、適性等を総合的にみます。面接は、個人または集団で行います。面接時に資料を配付し、その資料に基づいて質疑応答を行うことがあります。

6. 試験日程・時間割

令和5年1月18日 か1月9日 のいずれか

(注) 1. 試験日および集合時間等については、出願期間終了後、本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

2. 試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲示します。

7. 出願手続

(1) 出願方法の確認 (Step 1)

出願手続の手順については、本学ウェブサイト「入試情報 - 募集要項」

(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) に掲載されている「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録 (下記Step 2) だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (20～21ページ参照)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
Step 2	インターネット出願登録 (21ページ参照)	出願登録期間内に、インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
Step 3	検定料の支払い (21～22ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください。(検定料免除申請をする場合は支払わないでください。)
Step 4	必要書類の作成・印刷・送付 (22～24ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「一般書留速達」で郵送してください。
Step 5	受験票の印刷 (詳細は24ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 事前準備 (Step 1)

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <Windows> ・ Microsoft Edge (最新バージョン) ・ Google Chrome (最新バージョン) ・ Firefox (最新バージョン) <Mac OS> ・ Safari (最新バージョン) <Android 5.0以上> ・ Android Chrome <iOS 10.0以上> ・ Safari 最新バージョン以外でも利用することはできますが、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また、その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。
メールアドレスの準備およびメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 (@adb.fukushima-u.ac.jp, @postanet.jp) 出願時に登録したメールアドレスに、以下の4～5回メールが送信されます。 インターネット出願登録入力中のテストメール 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール 検定料支払完了時の自動送信メール(検定料免除の場合は送信されません) 顔写真が承認または非承認された際のメール 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール 受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。
入学志願者本人写真(データ)の準備	インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ(jpg)が必要です。(受験票に顔写真が掲載されることとなります。) 写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前3か月以内に正面向、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは3MBまでです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、 現像された写真を再撮影しているもの等。
必要書類等の準備	「出願書類」(23ページ参照)記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。
出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を準備してください。
様式印刷の準備(プリンタ、印刷用紙等)	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。

インターネット出願登録期間 (Step 2)

令和4年12月11日 ~12月16日 午後4時30分まで

検定料の支払い (Step 3)

検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー(ネットバンキング・銀行ATM)」のいずれかの方法で払い込んでください(払込手数料が別途必要です)。

【払込期間】

令和4年12月11日 ~12月16日 午後4時30分まで

なお、支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です（出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし、次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア．検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった）

イ．検定料を誤って二重に払い込んだ

ウ．出願期間終了までに、検定料免除に該当することを証明する書類を取得できなかったものの、出願期間終了後に取得した

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問合せ先：福島大学財務課出納係

024 - 548 - 8015

検定料免除について

本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和4年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については30ページの「東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

出願期間（Step 4）

令和4年12月13日 ~12月16日 午後5時まで

出願書類提出先（Step 4）

福島大学入試課 〒960 - 1296 福島市金谷川1番地 024 - 548 - 8064

出願書類等（Step 4）

入学志願者は、次の書類を取り揃え、一般書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし、「(5) 出願期間」で定める出願期間最終日前日の発信局消印のある一般書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。出願期間最終日当日の発信局消印の一般書留速達は、受理しません。（出願期間内に書類が本学に到着しないことが確実であるため。）

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 ()	<p>インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 『<u>推薦</u>国公立推薦型選抜用』の大学入学共通テスト成績請求票を指定の場所に貼付けるのを忘れないようにしてください。 成績請求票(大学入学共通テスト受験票)が届いていない場合には、成績請求票貼付欄付近に「成績請求票未着」と朱書きし出願してください。なお、成績請求票は到着次第提出してください。(郵送の場合は封筒に「学校推薦型選抜成績票在中」と朱書きのうえ、必ず一般書留速達にしてください。)</p>
2. 志願理由書 ()	<p>本学所定の様式 入学志願者本人が作成したもの。</p>
3. 推薦書 ()	<p>本学所定の様式 出身学校長が作成し厳封したもの。</p>
4. 調査書	<p>出身学校長が作成し厳封したもの。</p>
5. 検定料免除申請書 () および添付書類 (申請者のみ)	<p>本学所定の様式 免除の条件については30ページの「<input type="checkbox"/>東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。 なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。</p>
出願書類提出用封筒	<p>各自で準備した市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に、上記1～5の必要書類で該当するものを封入し、一般書留速達で郵送してください。</p>
出願書類提出用 宛名シート ()	<p>インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。</p>

出願書類作成上の注意事項 (Step 4)

表中の「 」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷する書類です。

インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。

表中の「 」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。

（本学ウェブサイト「入試情報 - 募集要項」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>））

黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。自筆作成の指定がない書類は、パソコンによる入力も可です。

押印が必要な書類もありますので注意してください。

誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。

廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績証明書（成績通信簿）を提出してください。また、成績証明書も得られない場合には、調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書（出身学校長が作成したもの）を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの卒業証明書等が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。

出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。

- ・ 入学志願票等に記入漏れまたは誤記入があるもの
- ・ 出願書類として添付が必要な証明書等が同封されていないもの

出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却および志望等の変更（コース変更等）は認めません。

出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

受験票の印刷について (Step 5)

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったこととお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

また、「大学入学共通テスト受験票」も必ず持参してください。

大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表

すべての教科・科目を受験する予定か、各自で必ずチェックして出願してください。(注：確認の際には、19ページで受験を要する教科等をよく確認してください。)

なお、この表は提出する必要はありません。

学類	受験を要する教科名等	科目の選択方法	1. 受験予定科目に✓をつける	2. 必要科目が受験予定か✓をつけて確認する。	
人間発達文化学類	国語	国語	<input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	地理歴史 公民	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている 理科<選択>を確認 <input type="checkbox"/> 2科目チェックしている 理科<選択>を確認 <input type="checkbox"/>	
	理科	選択	【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	から2 基礎を付した2科目+1科目 合計3つチェックしている から1 または 基礎を付していない科目 2科目にチェックしている または 基礎を付した2科目に チェックしている から2 または 基礎を付していない科目 1科目にチェックしている
			地理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		選択	【パターン2】 物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	数学	数学 数学・数学A	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
		数学 数学・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	合計	<選択> [5教科7科目] または[5教科8科目] <選択> [5教科7科目], [5教科8科目] [6教科7科目] または[6教科8科目]		【最終確認】 この欄に6つの✓が入っていますか？ ・入っている 出願に必要な科目を受験予定ですので、出願書類の確認欄に✓をつけてください。 出願してから受験科目が不足していることが判明すると、個別試験は受験出来ません。 ・入っていない 受験科目が不足しています。出願できません。 もう一度確認してください。	

8. 合格者発表

令和5年2月9日 午前11時

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続等を記載した「入学手続の手引き」を送付します。学校長には選考結果を文書で通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

JR福島駅やJR金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については、本学は一切関知していませんので十分注意してください。

9. 入学手続

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

令和5年2月13日 ~17日 午後4時必着

指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

なお、入学手続完了後に他の国公立大学に入学手続をすることは認められません。本学の入学辞退許可を得ずに、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。)の個別学力試験等を受験しても合格者とはなりません。

公立大学協会のウェブサイト(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照

入学手続に際しては、入学料等を納付するほか、「入学手続の手引き」に記載の書類を提出しなければなりません。

原則として、学校推薦型選抜に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、令和5年2月17日 までに「学校推薦型選抜入学辞退願」(様式は任意)を出身学校長名により、理由を付して提出してください。

入学時の大学への納入金

入学料(予定額)	各学類	282,000円
----------	-----	----------

(注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合(留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。)は、入学料の返還はできません。

(参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額(予定額)は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料(予定額)	各学類	前期分	267,900円
		後期分	267,900円
		合計(年額)	535,800円

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費(「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等)については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

10. 入学料・授業料の減免について

非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方は、日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって、家計の所得に応じた支援区分で入学料、授業料が減免されます。また支援区分ごとの奨学金が毎月給付されます。

その他、激甚災害に遭われた方で、修学支援新制度の対象とならない方には、家計を確認したうえで入学料、授業料が減免される本学独自の制度があります。

□ 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに入試課まで申し出てください。

□ 合格しなかった者の取り扱い

学校推薦型選抜に合格しなかった場合に備え、本学および他の国公立大学の「一般選抜」の「前期 - 後期」の併願について、自由に2つまでの大学・学部（学類）に出願することができます。

本学の「一般選抜」に出願する場合は、「福島大学一般選抜学生募集要項」（11月中旬公表予定）を確認の上、改めて出願をしてください。その場合、大学入学共通テストの受験が必要です。

なお、一般選抜はインターネット出願のため、募集要項の配布は行いません。本学ウェブサイトを確認してください。

□ 不正行為の禁止について

不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く）、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

下敷、コンパス、定規等の補助具

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為とすることができます。

□ 入試情報の公開（開示）について

1. 試験問題等の公開について

試験問題

小論文については、問題および出題意図、面接については、資料を用いた場合、その資料を合格者発表後に公開します。

また、人間発達文化学類においては、面接の概要とねらいを公開します。

合格者の最低点

合格者が10人以上の場合、合格者の最低得点を合格者発表時に本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に公開します。

2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

開示期間 令和5年5月8日 ~ 5月31日

開示方法 令和5年4月上旬、本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。

(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>)

開示内容

ア. 個人成績について

行政政策学類学校推薦型選抜：小論文および面接の得点と総合点、面接の評価

経済経営学類学校推薦型選抜：(A推薦)小論文、面接の成績の総合点

(B推薦)小論文、面接、朱記要件加算の成績の総合点

共生システム理工学類学校推薦型選抜：小論文、面接の得点と総合点

人間発達文化学類学校推薦型選抜：大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点(本学が判定に使用した教科・科目のみ)、面接の得点および総合点

イ. 調査書について

「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物(高校在学時に交付される通知書と同等のもの)

□ 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

入学者選抜に関する業務(統計処理等の付随する業務を含む)に利用します。

入学手続きに関する業務に利用します。

入学手続き完了者にとっては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金への申請(応募)者にとっては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお、学校推薦型選抜の入学志願者にとっては、大学入学共通テストの成績を取得する目的で、独立行政法人大学入試センター(以下、「大学入試センター」といいます。)へ、学校推薦型選抜の合格者にとっては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また、出願者手続きに関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において 豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和4年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

対象者

出願期間までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方

東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方

東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○，否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
家屋の全・半壊					×
主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外 ×
原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域 ×

注：区域については、再編前の区域としています。

必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報 - 募集要項」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）参照

次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記 に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記 に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記 に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に出願書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

令和5年度入試における新型コロナウイルス感染症対応について

1. 検定料返還について

令和5年度福島大学学校推薦型選抜において、新型コロナウイルス感染症の罹患等により、受験することができない者は、以下のとおり検定料返還を申請することができます。

(1) 対象者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者（無症状の者を含む）

試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者

海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の者

試験当日における対応等について、かかりつけ医等に相談し、受験を取りやめた者

ただし、無症状の濃厚接触者については、後掲「2. 新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について」による申請により、受験を許可された場合、別室での受験ができます。

かかりつけ医等に相談する症状の目安は、試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験生のうち、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合とする。

(2) 申請期間

試験日の前日および当日 9:00～17:00

(3) 申請手続

A 申請期間内に本人または代理人が「受験票」と「診断書等（治療期間および検温した体温が明記されたもの）」を持参し、「追試験等申請書」により申請してください。

B 申請期間内に本人または代理人が来学できない場合は、電話で受付を行います。受付後、「受験票」および「診断書等」の提出が必要となります。

（注）診断書等の提出は申請期間の翌日までとします。翌日が土曜・日曜にあたる場合は、月曜日（月曜日が祝日にあたる場合は火曜日）まで。

(4) 申請内容の認否結果について

申請内容の認否については、本人に通知します。

(5) 検定料の返還について

検定料の返還が認められた場合には、別途、「検定料返還請求書」を提出してください。指定する銀行口座に振り込みとなります（ただし、振込手数料を減じた額となります）。

2. 新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について

本学を受験予定の方で、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者のうち、下記のいずれの要件も満たす場合で、本学入試課へ所定の申請手続を行い、受験を許可された場合、別室での受験ができます。

保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者で受験を希望する場合は、まずは速やかに本学入試課に電話でご連絡ください。なお、原則入試2日前の午前10時までに入試課にご連絡をお願いします。

【受験を認める要件】

初期スクリーニング（自治体または自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査））の結果、陰性であること。

初期スクリーニングの検査実施後、検査結果が判明するまでは受験不可となります。

ただし、行政検査が実施できない自治体の受験生については、可能であれば抗原定性検査キットにより陰性確認を行った上で、
の要件を満たせば受験が可能です。

公共の交通機関（電車、バス等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来ることができること（自家用車等を利用すること）。

受験当日も無症状であること。

- 1 本学入試課への申告後に別室での受験に問題がないと判断された場合、申請者へ確認を行うと同時に、速やかに郵送またはメールで申請者宛てに許可証を送付します。
- 2 受験当日は許可証を持参し、指定時間、指定場所(許可証と同封)に集合してください。そこで、無症状であるかの確認を行います。

試験当日にいずれの要件も満たした場合は、感染防止対策をとり、別室受験とします。

試験当日に発熱、咳等の症状がある場合には受験できません。

3. 受験生のみなさまへのお願い

本学では、試験場等の衛生管理体制に万全を期し、入試を実施します。受験生のみなさまは、以下の新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

試験前

○日頃からの体調管理、不要不急の外出等を行わないなど、感染リスクを避ける行動を心がけてください。

○新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者および保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません（無症状の濃厚接触者は「2.新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について」を参照ください）。

試験当日

○試験当日は、検温を行い37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。

○試験場内において、写真照合時を除き、必ずマスクを着用してください。

○アルコールによる手指消毒、トイレ後の手洗いを行ってください。

○発熱、咳等の体調不良の場合には、試験監督等に申し出てください。

○換気を行いますので、体温調節が可能な服装をご準備ください。

○試験前、休憩時間等は、他者との接触・会話を極力控えてください。

○移動の電車等においても、マスクを着用し、友人との会話は極力控えてください。

試験終了後

○入学試験受験後、1週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合には、必ず、福島大学入試課に連絡してください。

○入試において感染者が出た場合には、保健所に連絡先等の情報提供を行う場合があります。ただし、提供する個人情報は新型コロナウイルス感染症拡大防止以外には利用いたしません。

なお、今後の新型コロナウイルス感染状況によって、令和5年度入試における新型コロナウイルス感染症の対応が変更となる可能性があります。対応に変更が生じた場合には、本学ウェブサイト（入試情報 <http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）で随時お知らせします。

福島大学案内図

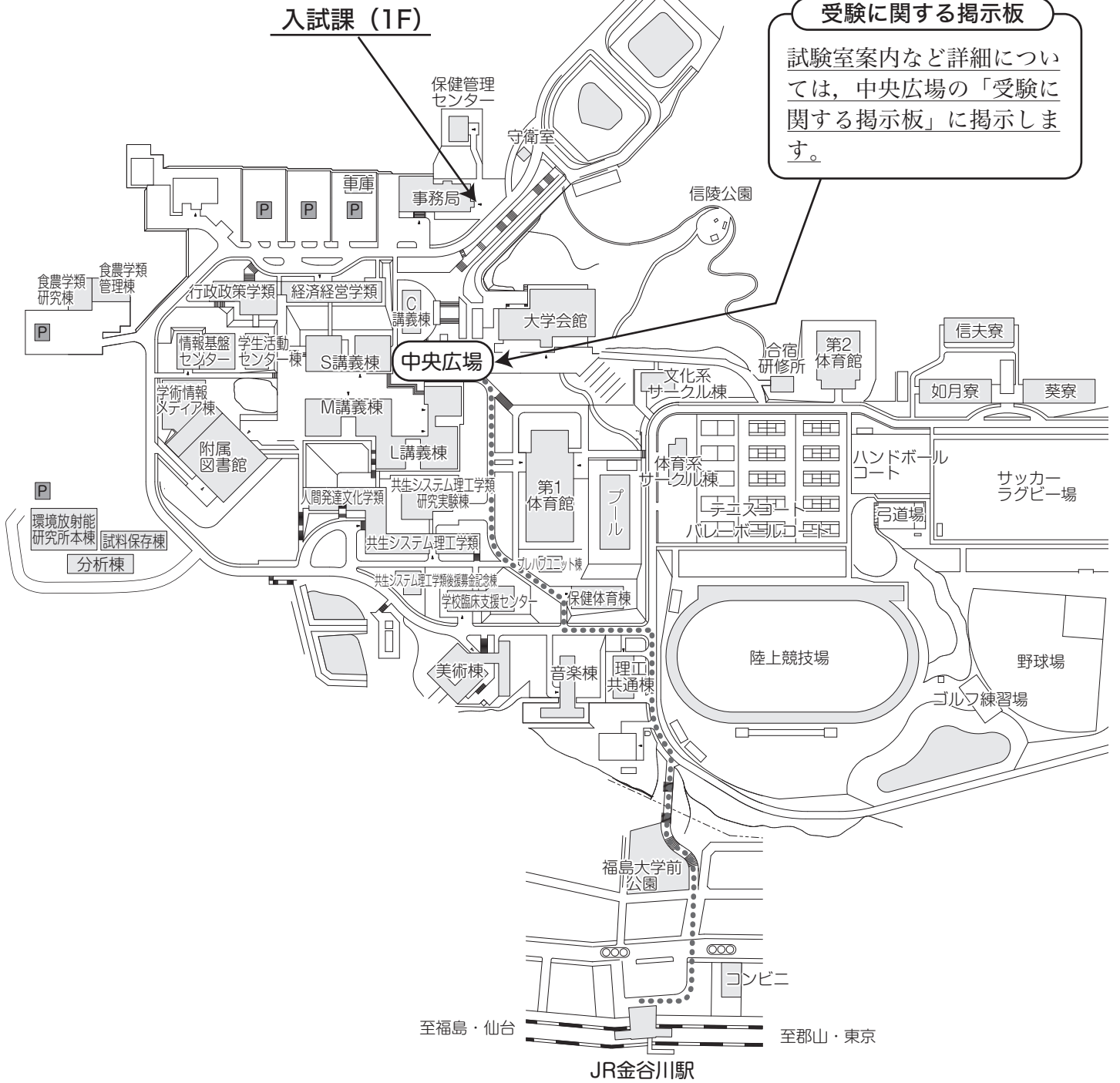


県道 至福島
 福島・安達線 (旧国道4号)
 至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



至福島・仙台 JR金谷川駅 至郡山・東京

かなやがわ
 JR東北本線金谷川駅下車
 中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University